

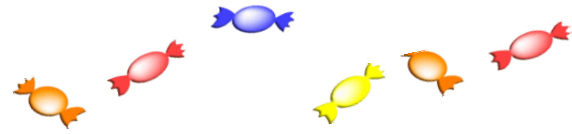
市民ネットワーク所沢からのお知らせ

◆ 事務所開放日 ◆

8月25日(木) 13時~15時

9月25日(日) 13時~15時

お茶を飲みながら相談、おしゃべりしませんか。
お気軽にいらしてください。
フードバンクの食料品も受付けています。
(1ヶ月以上消費期限のあるもの)



あしがき

世界遺産の薬師寺で、地元の幼稚園児が育てた菜の花を絞ったなたね油が、お灯明として奉納されている。きっかけは、同じく世界遺産の法隆寺に小牧市のなたね油が故立松和平さんの口添えて奉納されたこと。現在は東大寺、唐招提寺、香取神宮、鹿島神宮など広がり続けている。今年はNPO 宙塾のご協力で、菜の花プロジェクト所沢の油も寺社に奉納させて頂いた。

幼稚園児が奉納する時、薬師寺管主さんは「大切に使います」とその場で灯して下さい。子ども達は「わたしたちが花を育てなければ薬師寺に灯りがつかない。がんばろう」と使命感、達成感を感じるそうだ。持続可能な社会を作る環境教育(ESD)に菜の花プロジェクトはぴったりだ。私たちが奉納した所沢のなたね油はどこかの神社仏閣の片隅を照らすだろう。楽しみで私の心にもほんのり灯りが点る。

市民ネットワーク 末吉美帆子

他団体からのお知らせ

フードバンクところざわでは、寄付頂いた食料を必要とされる方へ届ける活動をしています。市内各拠点で受けつける食料品は1ヶ月以上消費期限があるものですが、大量に採れた野菜など消費期限が短いものも歓迎いたします。詳しくはフードバンクところざわへお問い合わせの上、お届けくださいますようお願い致します。

070-5080-3068

(平日 11時~17時)



【お問い合わせ・連絡先】

※常駐していません。留守電・FAX でお願ひします。

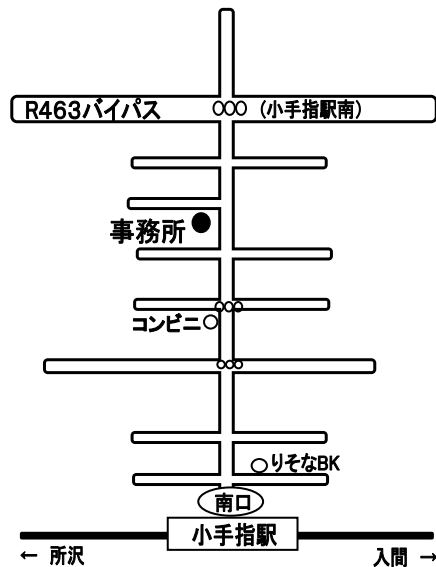
●住所 〒359-1141 所沢市小手指町4-17-48 光ビル1F

●電話・FAX 04-2947-6370

●メール prinmint@shore.ocn.ne.jp (末吉)
cnet-toko@net.email.ne.jp (事務所)

◆ネットの仲間になって一緒に活動しませんか。
年会費 1,500円 郵便振替口座 00160-6-179015

◆この「つうしん」はボランティアの方が配布しています。
購読ご希望の方は定期的に郵送します。
どうぞご連絡ください。



http://tokorozawa-net.com/

NO. 80 (2016. 8)

市民ネットワーク



発行: 市民ネットワーク所沢

〒359-1141 所沢市小手指町4-17-48 光ビル 1F-B

TEL/FAX 04-2947-6370 メール: cnet-toko@net.email.ne.jp

貧困・格差と不平等の是正へ 一億老後総崩壊を防ぐために



所沢市議会議員

末吉美帆子

(健康福祉常任委員・広聴広報委員)



現在、日本の貧困率は16.1%、6人に1人が貧困ラインと言われています。そのうち65才以上の貧困率は22%、5人に1人が貧困です。また単身高齢男性の貧困率は38.3%単身高齢女性は52.3%と言われ、誰もが高齢貧困に陥る可能性を秘めています。ベストセラー『下流老人 一億老後崩壊の衝撃』を書いた藤田孝典さんは「生活保護基準相当で暮らす高齢者及びその恐れがある高齢者」は全国700万人おり、さらに増えると類推しています。

老後困窮する要因である低年金・無年金・貯蓄の少なさは非正規・低賃金などの雇用問題、基礎年金削減など国の政策が大きく影響しています。藤田さんは「貧困高齢者問題を放置すれば、社会全体が持続可能ではなくなってしまう。重大な社会問題」と述べています。貧困・格差と不平等の是正が必要です。

また、市としては成年後見制度、高額療養費助成

や無料低額診療事業制度(支払いが困難な低所得者に医療機関が実施する事業。所沢は2ヶ所)など制度の情報周知も必要です。29年1月開館する「こどもと福祉の未来館」の相談窓口充実、各行政区のコミュニティソーシャルワーカー設置でさらに相談機能充実を進めてほしいと思います。

昔はみな「貧乏」だったと言われます。では「貧困」とどこが違うのか。それは「関係性の貧困」であり「社会的孤立」です。地域社会に積極的に参加し、助け助けられる関係性が高齢期の幸福度を高めるのではないのでしょうか。さまざまな福祉制度を上手に活用し、知識や知恵で生活を楽しみ、人間関係をゆたかにもっている。そんな高齢者をふやしていく地域社会でありたいと願います。

末吉美帆子
平成 28 年6月議会
一般質問



一般質問

- ◆障害者差別解消条例制定に向けたスケジュール
 - ◆差別とはなにか？多くの事例を集め共有を
 - ◆バリアフリー補助金設置を
 - ◆「下流老人」高齢貧困者の現状と課題
 - ◆孤立時代の墓のあり方
 - ◆児童養護施設児童への支援
 - ◆ふるさと納税で進学奨学金を
 - ◆狭山丘陵墓地計画
- 伐採裁荷試験で市条例・県条例・森林法違反の経過と今後の対応について。市は本気で公有地化を交渉すべきではないか。
- ◆持続可能な社会に向けた教育(ESD)

障害者差別解消条例について

今年4月から障害者差別解消法が施行されましたが、差別をなくし誰でも暮らしやすい社会を構築するための具体的取組みが必要です。

市は来年度以降の条例制定を予定していますが、策定に障害当事者が参加すること、ワークショップや事業者アンケートなどを実施して差別に関する共通認識を広げてほしいと思います。

また、明石市では点字メニュー、スロープ、筆談ボード等の補助金制度を新設しましたが、バリアフリーの裾野が広がり心理的にも良い影響があります。ぜひ所沢市でも条例とともに検討してほしいと思います。



児童養護施設とは？

保護者がいない、又は虐待されている等の児童を保護し自立を支援する施設です。埼玉県には22施設1200名余りの子ども達が入所しています。現在課題となっているのは進学困難、中途退学など進路が不安定なケースが多く、負の連鎖が続くことです。

世田谷区では奨学金や支援制度で自立を後押ししています。所沢市には施設はありませんが入所者や卒業者はいます。児童養護施設の子供達は必ずしも同じスタートラインに立っていません。お金はもちろん重要ですが何よりも「あなたの成長と自立を応援しているよ」という社会の姿勢が重要だと思います。進学や資格取得で自立し、幸せな人生を生きることは社会全体に大きな恩恵になります。頑張ってくださいと、施策充実を提案し続け応援していきたいと心から思います。

三ヶ島2丁目墓地計画について

5/24 狭山丘陵の墓地計画地で、試験伐採中に事業者が国有地に立入り、木を伐採した。森林法・県条例・市条例に反する行為に厳然と対処してほしい。また事業者に対して公有地化を働きかけてほしい。



ミホコのつぶやき

墓地計画地周辺にホテルを見に行きました。暗い水面に、草木の間に、無数の白い光が瞬いていました。墓地建設工事が始まれば滅ぶかもしれない儚さがいじらしく、お金の換算できない「たからもの」です。墓計画の変更と予定地の公有地化を求め続けます。



狭山丘陵の墓地計画予定地

ある高齢者の方から施設入居される際に配偶者の遺骨持ち込みができないという話を聞きました。また、経済的に困難があり身寄りがない成年後見市長申立て件数は平成14年までは一桁ですが平成26年19件、平成27年22件と増え続けています。まさに孤立時代です。

樹木葬の人気の高まっていますが共同墓や合祀など無縁社会の祭祀について情報を集め、冒頭のような相談に対しての体制充実を要望しました。市は29年1月開館の「福祉の未来館」の相談窓口機能を充実させると述べています。



チェルノブイリと福島と

ミホコのウクライナ訪問記

チェルノブイリ原子力発電所爆発から30年を迎えたウクライナを訪れた。老朽化する4号炉を覆うため建造中の新石棺は銀色のかまぼこ形。

内政不安と財政難に苦しむウクライナで、「チェルノブイリ法」に規定された事故処理作業者と避難者への支援が十分に実行されていない不満を多く伺った。しかし被災者の医療費無料や子ども達の保養などを明確に規定したチェルノブイリ法に比較し、日本の被災者支援法の不十分さがよくわかった。

居住禁止30キロ圏内に自主的に帰還している82才のイヴァンさん宅を訪れた。驚いたことに彼の家付近の空気線量は所沢とほとんど変わらない。(但し数値が高い自主帰還者の住まいもある)つまり事故現場からの距離のみで線など引けない。福島も同じだ。だからこそ帰還には定期的空気線量測定、合わせて内部被曝を防ぐ土壌・食品測定による科学的議論が必要だ。

一緒にチェルノブイリに行った南相馬の皆さんがいる。7月から南相馬市の帰還が始まった。どんな思いでやら



れることか。時には絶望的になりながら頑張っている。私は、チェルノブイリから学び福島再生のためできることはたくさんあると改めて思った。そして伝えたい。チェルノブイリもまだ終わっていない。ともに頑張ろうと。